

青森県において 高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜確認 今シーズン国内35例目！！

【農場概要】

場所：青森県三沢市（青森県2例目）

飼養状況：約137万羽（採卵鶏）

【経緯】

12/14 死亡羽数増加の通報を受け、立入検査を実施、簡易検査で陽性判明

12/15 遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

- 野鳥発生状況：18道県110事例（12/14現在）

飼養衛生管理基準の遵守、防疫対策の徹底をお願いします

- 農場敷地内・鶏舎周辺（特に水場周辺）の消毒を毎日行う
- 小動物や野鳥等が農場内に近づかないよう対策を講じる
- 鶏舎構造を考慮して野生動物の侵入ルートを探索し、侵入防止対策を行う（開放鶏舎・ウインドレス鶏舎ともに）
- 手指・長靴の消毒、消毒薬の適切な使用の徹底
※消毒を行う際は汚れを落とし、また消毒薬は汚れたら交換（最低1日1回交換）
- 衛生管理区域での衣服の交換、鶏舎ごとの長靴交換の徹底
※長靴交換の際は鶏舎内と外で使用する長靴の動線が混じわらないように注意

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

時間外連絡の必要な場合は、警備室 0573-26-1114 に電話し、
「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」と伝え、
警備員が家畜保健衛生所職員におつなぎします。